

WIN PARTNERS
WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

PARTNERS Report

ウイン・パートナーズ 株式会社

第13期第2四半期（中間期） 株主通信 Vol.17

2025年4月1日～2025年9月30日



堅調な経営成績を背景に
物流改革と人材育成を推進し、
顧客の成長支援を続けます。

代表取締役社長 秋沢 英海

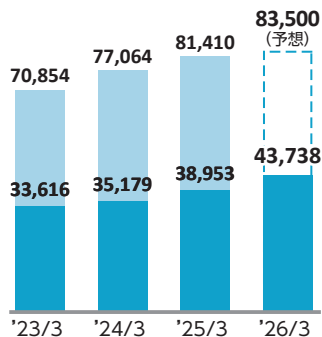
連結財務ハイライト

■ … 中間期 ■ … 通期

売上高

(単位：百万円)

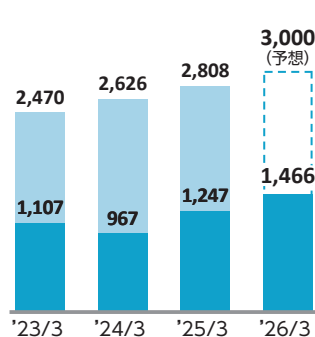
43,738 百万円 (前年同期比+12.3%)



営業利益

(単位：百万円)

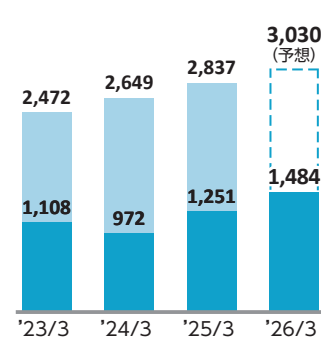
1,466 百万円 (前年同期比+17.5%)



経常利益

(単位：百万円)

1,484 百万円 (前年同期比+18.7%)



Q-1 当上期の経営成績と通期見通しについてご解説ください。

当上期は売上高が前年同期比12.3%増で過去最高を引き続き更新、営業利益も同17.5%増となりました。コロナ後の症例数回復を背景に、安定した成長が継続しています。分類別売上高を見ますと、PCI（虚血性心疾患関連）や心臓律動管理関連（CRS）、心臓血管外科関連（CVS）など主要分野の売上はすべて前年同期を上回りました。売上構成の変化などにより売上総利益率は前年からやや低下しましたが、増収効果によって営業増益を確保

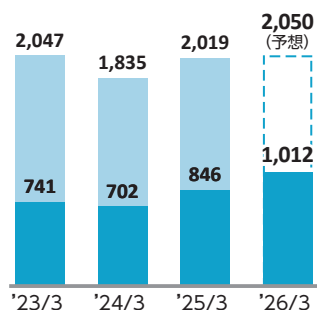
しました。

政府の医療費削減に向けた取り組みに加え、働き方改革に伴う医師不足、全般的な物価の上昇などによって、医療機関の経営は厳しさを増しています。当社グループはこのような顧客の事業環境の変化を的確に捉え、医療機器の販売にとどまらず、効率的な病院運営やより多くの患者様に来院いただくための様々な提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得を実現しています。

親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)

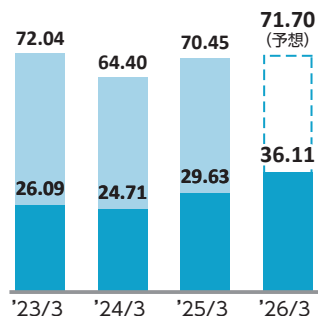
1,012 百万円 (前年同期比+19.7%)



1株当たり当期純利益

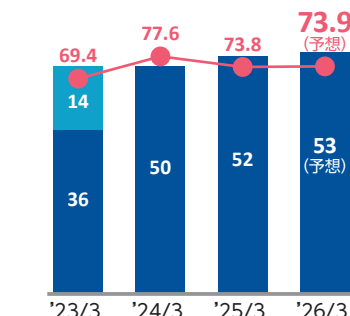
(単位：円)

36.11 円 (前年同期比+21.9%)



1株当たり配当金

■ 普通配当 (円) ■ 記念配当 (円)
● 配当性向 (%)



通期業績については、売上高835億円（前期比2.6%増）、営業利益30億円（前期比6.8%増）を見込んでいます。売上高は4期連続で過去最高を更新、営業利益も3期連続の増益となります。上期に引き続いて全体的に需要が堅調に推移することが期待されるほか、有力顧客の開拓が順調に進んでいることから、この計画は十分に達成できると考えております。



Q-2 中長期の成長戦略についてお聞かせください。

当社グループは独立系の医療機器商社として、約100社の医療機器メーカーの商品を、450施設以上の顧客病院に供給しています。患者様の身体的負担が少ない「低侵襲医療」に特化していること、そして、「顧客の成長が当社の成長」との考え方を大切にし、顧客の成長支援に注力している点が、私たちの大きな強みです。

本業である医療機器販売においては、成長分野であるCRSやCVSなどに経営資源を積極的に投入

していくほか、医療現場で医療機器を正しく使っていただくための「適正使用支援」にも継続して取り組んでまいります。

顧客の成長支援に向けては、ここ数年力を入れてきた「困りごと収集」をさらに徹底いたします。これを起点に、戦略的購買によるコスト削減や業務の効率性改善の提案、診療圏調査に基づく集患支援など、医療機器商社の枠を超えたコンサルティング的な業務をさらに強化し、当社の業容拡大へ

とつなげてまいります。

物流改革も順調に進んでいます。昨年11月に物流拠点「WIN Heart Gate」が稼働し、これまでに首都圏にある13の医療施設に対する物流業務を集約しました。WIN Heart GateではICタグを利用した物品管理を導入したことで、棚卸作業や在庫管理などが大幅に効率化されつつあります。また当社オリジナルの医療材料管理システム「信蔵君」も、情報の読み取り作業をバーコードからICタグへと省力化、データの管理もクラウド化するなど大幅に進化しています。これにより業務の効率化を推進するだけでなく、顧客病院にとっても、ICタグ内の情報を活用して請求漏れを防ぐことができるなど、病院のDX推進を後押ししてまいります。

一方で、今後の成長に向けた大きな課題であると認識しているのが、人材不足への対応です。業界でもトップクラスの堅実経営と成長性を誇る当社ですが、私どもの仕事は一般の方の目に触れることがなく、ここ数年は新卒を含めた採用面で苦勞する状況が続いています。当社の業務をより多くの方に知っていただき、その社会的意義を広く伝えたいとの思いから、新たな試みとして会社紹介アニメーションを制作しました（詳細は9ページをご覧ください）。

あわせて、優秀な人材が流出しないような制度作りにもさらに注力しなければならないと考えています。より働きがいを感じられる職場環境の整備に引き続き取り組むほか、結婚や出産などで一時的に離職した女性がスムーズに復職できるよう、各種制度の充実にも力を入れてまいります。



Q-3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期末の配当金につきましては、前期末比1円増となる1株当たり53円とさせていただく予定です。株主の皆様への利益還元については、まず本業で安定的に利益を確保し、その上で、できる限り高水準の配当を継続的に実施してまいりたいと考えております。

株主の皆様には、当社の株を長く保有していただき、その方々に「長く持っていて本当によかった」と

思っていたような結果を残したいと考えています。そのためには、現状に満足することなく、常に新たなビジネスモデルを模索し続けなければなりません。こうした取り組みを継続することで企業としての価値をさらに高め、配当だけでなく株価もさらに高い水準を実現できるよう注力してまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

前連結会計年度
2025年3月31日

当中間連結会計期間
2025年9月30日

資産の部		
流動資産	39,725	39,727
現金及び預金	16,209	16,021
受取手形及び売掛金	18,797	18,730
商品	3,246	3,501
その他	1,471	1,474
固定資産	6,894	6,798
有形固定資産	4,473	4,365
無形固定資産	401	400
投資その他の資産	2,019	2,032
資産合計	46,620	46,525
負債の部		
流動負債	21,386	21,885
支払手形及び買掛金	19,917	20,451
その他	1,468	1,434
固定負債	1,164	2,086
負債合計	22,551	23,972
純資産の部		
株主資本	23,840	22,330
資本金	550	550
資本剰余金	2,594	2,594
利益剰余金	21,746	21,272
自己株式	△1,050	△2,086
その他の包括利益累計額	229	223
純資産合計	24,069	22,553
負債純資産合計	46,620	46,525

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

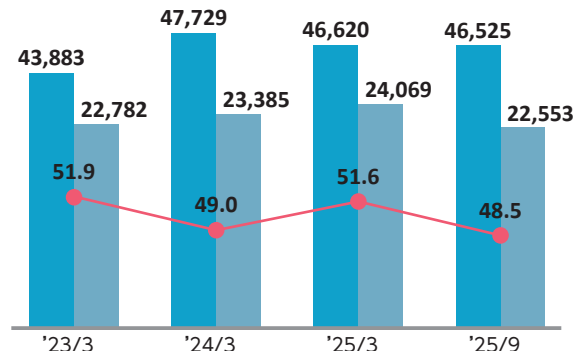
前中間連結会計期間
2024年4月1日～
2024年9月30日

当中間連結会計期間
2025年4月1日～
2025年9月30日

営業活動による キャッシュ・フロー	1,348	1,702
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,220	633
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,428	△2,523
現金及び 現金同等物の期首残高	13,150	11,209
現金及び現金同等物の 中間期末残高	10,850	11,021

総資産／純資産／自己資本比率

■総資産(百万円) ■純資産(百万円) ●自己資本比率(%)



Point

営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払が466,526千円あった一方、税金等調整前中間純利益が1,494,730千円、仕入債務の増加が533,203千円あったこと等により1,702,517千円の収入(前年同期は、1,348,787千円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が115,562千円あった一方、投資有価証券の売却による収入が671,608千円あったこと等により633,031千円の収入(前年同期は2,220,732千円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前期の配当金の支払が1,486,676千円あったことや自己株式の取得による支出が1,037,212千円あったことにより2,523,889千円の支出(前年同期は1,428,111千円の支出)となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

前中間連結会計期間
2024年4月1日～
2024年9月30日

当中間連結会計期間
2025年4月1日～
2025年9月30日

売上高	38,953	43,738
売上原価	34,219	38,599
売上総利益	4,733	5,139
販売費及び一般管理費	3,486	3,673
営業利益	1,247	1,466
営業外損益	3	18
経常利益	1,251	1,484
特別損益	0	9
税金等調整前中間純利益	1,250	1,494
法人税等	404	481
中間純利益	846	1,012
親会社株主に帰属する 中間純利益	846	1,012

連結包括利益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

前中間連結会計期間
2024年4月1日～
2024年9月30日

当中間連結会計期間
2025年4月1日～
2025年9月30日

中間純利益	846	1,012
その他の包括利益	△9	△5
中間包括利益	836	1,007

Point

顧客の環境変化を的確に把握し、医療機器の販売はもとより、医療の質向上や競争力強化を総合的に支援する病院の課題解決支援や適正使用支援など、付加価値の高い提案を行うことで既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努め、増収増益となりました。

主要分類別売上概況

● 心臓律動管理関連（CRS）

不整脈の治療で使用するEPアブレーション関連商品やペースメーカーの販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は12,426,974千円（前年同期比21.1%増）となりました。



取扱製品例：
ペースメーカー

前年同期比

+21.1%

● 虚血性心疾患関連（PCI）

集患支援の提案を積極的に行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。その結果、主力商品であるPTCAバルーンカテーテルや血管内超音波（IVUS）診断カテーテルの販売数量が伸長したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は9,714,785千円（前年同期比7.8%増）となりました。



取扱製品例：

PTCAバルーンカテーテル

前年同期比

+7.8%

13.2%

その他

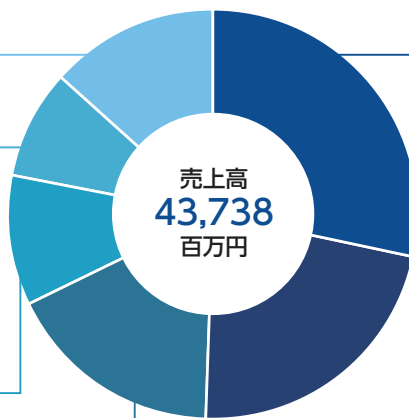
8.7%

医療機器関連

10.3%

末梢血管疾患関連 (PPI)
及び脳外科関連

分類別売上高構成比



28.4%

心臓律動管理関連 (CRS)

22.2%

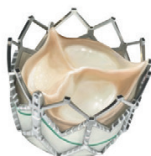
虚血性心疾患関連 (PCI)

17.2%

心臓血管外科関連 (CVS)

● 心臓血管外科関連 (CVS)

経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) やステントグラフト関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は7,545,854千円 (前年同期比6.3%増) となりました。



取扱製品例：
TAVI用生体弁

前年同期比 +6.3%

● 末梢血管疾患関連 (PPI) 及び脳外科関連

脳外科関連商品の販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は4,500,833千円 (前年同期比6.0%増) となりました。



取扱製品例：
塞栓用コイル

前年同期比 +6.0%

● 医療機器関連

医療施設の新築・増改築及び医療機器の更新情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行ったこと等により、医療機器関連の売上高は3,784,805千円 (前年同期比25.7%増) となりました。



取扱製品例：
移動式X線撮影装置

前年同期比 +25.7%

● その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長したこと等により、その他の売上高は5,765,725千円 (前年同期比8.1%増) となりました。



取扱製品例：
インスリンポンプ

前年同期比 +8.1%

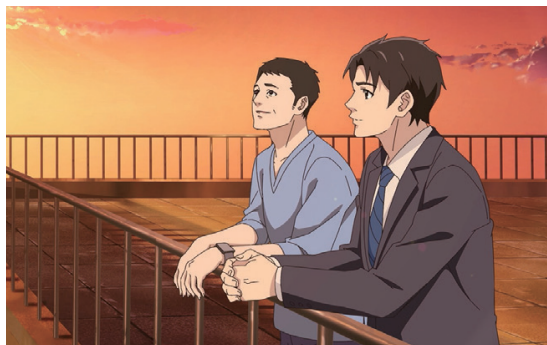
特集

会社紹介アニメーションを制作

当社ではこの度、ウイン・パートナーズグループを紹介するアニメーションを企画・制作いたしました。これは一般の方にはあまりなじみのない当社グループの業務内容をより多くの方々にわかりやすく、かつ親しみやすく伝えることを目指しています。また、より多くの方に当社グループを認知していただく試みとして、このアニメーションのエッセンスを集約した30秒のコマーシャル・フィルムも制作し、配信型メディア(TVer)への提供も行いました。

当社グループは単に医療機器を仕入れて販売しているだけではなく、重要な社会インフラである医療の安全かつ効率的な提供体制をサポートするべく事業活動を行っています。そのために医療機器の調達・納入のみならず、医療現場における課題解決や効率化、医療機器の適正使用支援などにも取り組んでおり、お客様である医療機関の持続的な成長をサポートしています。

アニメーションでは取引先や医療従事者との信頼関係やチームワークの大切さも訴求し、日々命と向き合う医療の現場の裏側を支える姿を未来志向のメッセージとともに映像に込めています。アニメーションを通じて、当社グループの役割や社会的意義について理解していただき、関心を持っていただけることを願っています。



▶ アニメーションは当社ホームページ (<https://www.win-partners.co.jp/>) に掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



会社概要

(2025年9月30日現在)

社名

ウイン・パートナーズ株式会社

英文社名

WIN-Partners Co., Ltd.

事業内容

医療機器販売等（連結ベース）

本店所在地

東京都中央区京橋二丁目2番1号
京橋エドグラン21階

グループ会社

株式会社ウイン・インターナショナル
テスコ株式会社
株式会社エムシーアイ
株式会社トーセイメディカル
株式会社トライテック

設立年月日

2013年4月1日

資本金

5億5千万円

従業員数

646名（連結）

役員

(2025年9月30日現在)

代表取締役社長

秋沢 英海

取締役

三田上 浩美

取締役

秋田 裕二

取締役

松本 啓二

社外取締役

井出 健治郎

社外取締役

高村 悦子

取締役

中田 陽一※

社外取締役

神田 安積※

社外取締役

菊地 康夫※

(注) ※は、監査等委員

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数

100,000,000 株

発行済株式の総数

30,503,310 株

株主数

15,825 名

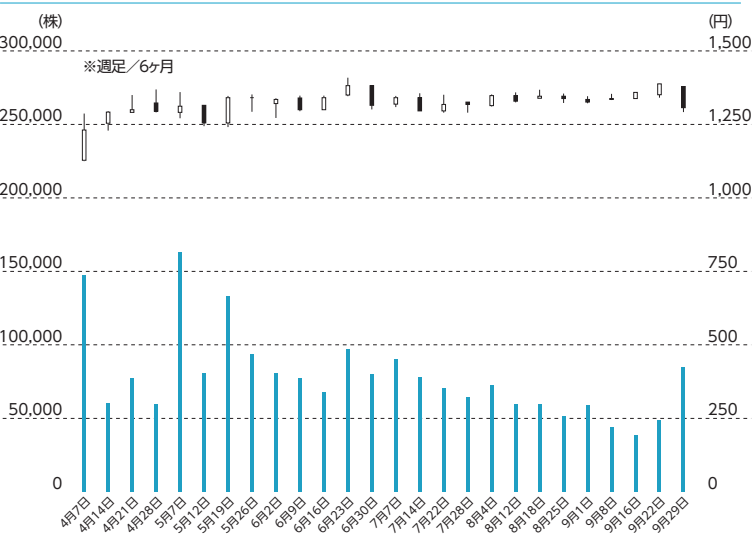
大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社オフィスA	7,080,200	25.52
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,995,611	7.19
株式会社キエマ企画	1,891,000	6.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,716,500	6.18
秋田裕二	1,715,990	6.18

(注) 持株比率は自己株式2,725,874株を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移

(期間：2025年4月～9月)



IRカレンダー



株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 3月31日		
公告方法	電子公告 https://www.win-partners.co.jp/koukoku/ やむを得ない事由により電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に 掲載いたします。		

※ 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。



WIN A BETTER QUALITY OF LIFE

WIN PARTNERS

ウイン・パートナーズ 株式会社

〒104-0031
東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン21階
TEL: 03-3548-0790

<https://www.win-partners.co.jp>



ホームページは
こちらから



WINはQOL推進企業です



GREEN PRINTING JPP
P-A10007
この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。

